

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[いつでも使えるフラッシュがロックされたフラッシュが](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、コンテンツ サービス スイッチ (CSS) 11000 および 11500 での Operational FLASH と Locked FLASH の違いについて説明します。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントは、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

いつでも使えるフラッシュがロックされたフラッシュが

フラッシュ メモリはメモリの 単位で消され、プログラムし直すことができるセクタ・ ベース消去可能な不揮発性メモリの電気型です。フラッシュするはメモリセルのセクションが一つのアクションで消されるか、または点滅するようにマイクロチップが編成されるので名前を取得します。CSS スイッチは、フラッシュ イメージを使用して、スイッチの電源投入時に CPU が実行する初期プログラム コードを格納します。このブート設定で指定どおりの WebNS の選択したバージョンが記録する初期 プログラム ロード。

CSS スイッチには、各ユニットに 2 つのフラッシュ イメージが存在します。1 イメージは操作

可能なフラッシュイメージと言われ、他はロックされたフラッシュイメージと言われます。ロックされたフラッシュイメージは動作中のFLASHが自動更新の間に破損している場合リカバリパスを与えます。フラッシュイメージは両方ともフラッシュROMにありますが、ROMで異なるセグメントで保存されます。理論では、イメージは両方とも破損するようになるべきではありません。このフラッシュROMは不揮発性です、つまりシステムが電源がオフになっているときこれらのイメージがこの物理的なロケールで保存され続けることを意味します。通常CSSスイッチリブートがROMモニタ (ROMMON) で、Diag モニタ構成されている、および OFFDM フラッシュROMから、それ操作可能なフラッシュイメージをロードする時。OFFDMはディスク、PCMCIAメモリまたはネットワークからそれから WebNSイメージをロードします。

コードの新しいバージョンは (新しい .adi イメージ) ロードされ、システムのフラッシュするにある何がより新しい操作可能なフラッシュイメージがそして含まれていることをバージョン番号は示します。荷を解くプロセスはディスクで最初に操作可能なフラッシュイメージがディレクトリ /ap0x0x00x/images/ (CSS 11000) または /sg0x0x00x/images/ (CSS 11500) の下で PCMCIAメモリを書きます。これはフラッシュするに焼き付けられるフラッシュイメージです。

CSSスイッチが操作可能なフラッシュイメージから、たとえば起動できなければ場合、破損するように、それ使用しますユニットの製造の間にフラッシュするに置かれたより古いロックされたフラッシュコードをなります。ロックされたフラッシュイメージは WebNSイメージがロードすることができるように初期プログラムを提供します。ロックされたフラッシュのより古いバージョンはより新しいランタイムコードを正しく使用します。

注注意すべき重要な事柄はロックされたフラッシュイメージの自動更新がないことです。スイッチは操作可能なフラッシュイメージが手動操作の介入によって (OFFDMによって) 復元する、または新しい .adi ファイルのロードによって続けますまでロックされたフラッシュイメージから起動し。

ロックされたフラッシュイメージは決してアップグレードされるか、または削除すべきではありません。これによりユニットは無力になられるようになります可能性があります。

CLI コマンド **バージョン**の発行によって、作動可能 および ロックされた フラッシュ イメージのバージョンを判別できます。

```
CSS# versionVersion: sg0720310s (7.20 Build 310)Flash (Locked): 7.10 Build 3Flash (Operational): 7.30 Build 10Type: PRIMARYLicensed Cmd Set(s): Standard Feature Set Enhanced Feature Set
```

ロックされたフラッシュイメージはまた CLI コマンドの発行によって示し、**シャーシ**を示します **シャーシ フラッシュする**を表示することができます。

[関連情報](#)

- [コンテンツ ネットワーキング デバイスに関するテクニカル サポート](#)
- [コンテンツ ネットワーキング ソフトウェアのテクニカル サポート](#)
- [CSS 11000 シリーズ コンテンツ サービス スイッチ製品に関するサポート ページ](#)
- [CSS 11500 シリーズ コンテンツ サービス スイッチのテクニカル ドキュメント](#)
- [Cisco WebNS CSS 11000 ソフトウェアのダウンロード](#)
- [Cisco WebNS CSS11500 ソフトウェアのダウンロード](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)